

下巻(2年)

「新版 たのしい せいかつ 下 はっけん」指導計画作成資料

令和2年度（2020年度用） 小学校生活科

本資料は、休校措置にともなって学校の授業時間が十分に確保できない現状を踏まえ、令和2年度版教科書「たのしい せいかつ 上・なかよし」「新版 たのしい せいかつ 下・はっけん」について、学校の授業以外で取り組む学習、および感染症対策の観点から指導順序の変更を検討することが考えられる学習を年間の指導計画に示したものです。

本資料では、以下の考え方をもとに、指導計画を作成しています。

- ・授業は1単位時間45分で行われることを前提としています。
- ・具体的な活動や体験を通して学ぶ生活科の教科特性や、低学年という発達段階、家庭環境の多様さを踏まえると、生活科の学習はできるだけ学校で行うことが望ましいと考えます。
- ・学校の授業以外で取り組む活動については、活動の導入、投げかけは学校で行ったうえで、その後家庭で家族の協力のもと進めることが可能と考えられる活動を想定しています。
- ・感染症対策の観点から指導順序の変更を検討することが考えられる活動については、主に
 - ①異学年や園児との交流など、多くの児童が密集し、近距離での接触が考えられる活動
 - ②家族や地域の方を招いて、児童が活動の成果を発表するなど、多くの人が密集することが考えられる活動
 - ③校外へ出かけ、商店や施設を訪れ、地域の方との交流を行うことを想定した活動と考えています。

上記の内容にあたる活動を抽出し、その配当時間を示していますが、これら活動は、単独で成り立つものではなく、前後の活動と密接に関連しているため、活動時期の変更が難しい場合も考えられます。そのため、指導順序をずらす以外にも、感染症対策をとったうえで行うための方策についても記しています。

本資料はあくまで1つの例として示しています。各地域・学校の実情に合わせて、学校の授業以外の活動を増減していただく、指導時期はずらさず十分に感染症対策を行ったうえで活動を実施していただく等弾力的にご活用ください。

下巻(2年)

大日本図書「新版 たのしい せいかつ 下・はっけん」(生活134)

授業内93時間+授業外12時間

指導順序の変更が必要となる活動19時間

大単元:春 はっけん (指導時期 4~6月・24時間) →授業内23.5時間(指導順序の変更が必要となる活動3時間)+授業外0.5時間

大単元の主なねらい

- ◎2年生になった喜びを、家族や友達と感じ取ることができる。
 ◎1年生に親切にするとともに、自分の成長を感じることができる。
 ◎栽培や校庭および通学路の様子から春を感じるとともに、自然に親しむことができる。
 ◎通学路や学区を歩き、人々の暮らしの様子や自然の変化、安全を守っている施設や人々に気付くことができる。

小単元名	配当時数 (そのうち授 業が必要な 時数)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考え られる教材・学習活動 (概要、配当時数)	感染症対策の観点から指導順序を変更する ことが考えられる教材・学習活動 (概要、配当時数)
2年生になったよ (p.4~13)	1 (1)	◎2年生に進級し新たなめあてをもって新学期を迎えるとともに、進級した喜びを感じる。 ◎1年生を歓迎する会の準備や学校案内など1年生とかかわる活動を通して自分の成長に気付く。 ◎春の校庭を散歩しながら、動植物の変化や身近な春を見つけて楽しむ。 ◎近くの野原や校庭でネイチャーゲームを楽しむ、春の自然とのふれ合いを通して、草花や動物の特徴に気付く。		p.6~7 「自分たちが お兄さん おねえさん なんだ」における ○1年生に学校案内をしたり、迎える会を行う(1.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、対面での活動ではなく、歓迎のことばや学校案内等を動画に撮り、1年生に送ることも考えられる。
さいばい・花や やさいを そ だてよう④ (p.16~21)	6 (5.5)	◎秋に植えた野菜などの収穫の喜びを感じたり、家族で楽しく調理して食べたりする。 ◎育てたい野菜などを決め、収穫を楽しみしながら、これまでの栽培の経験を生かして、苗を植えたり、たねをまいたりし、継続して世話をする。	p.16~17 「たくさん できたよ」内の以下の活動 ○どうやって食べるか話し合う(0.5) ※収穫物を家庭に持ち帰り、どうやって食べたいかを考えたり、実際の調理方法を調べる活動を家族と共に行うことが考えられる。	
春の 町で はっけん(p.22~ 27)	12 (12)	◎通学路や学区を歩きながら動植物の変化や人々の暮らしのなかに春を見つけ楽しむ。 ◎通学路や学区の人々とふれ合うなかで、町のなかの施設や人々にも関心をもつ。		p.24~25 「見つけたよ こんな 人、こんな ところ」における ○グループごとに探検に出かける(2.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、町の方とのやりとりはwebを介して行うなどの活動も考えられる。

大単元:生きものはっけん (指導時期 6～7月・12時間) →授業内9.5時間+授業外2.5時間

大単元的主要なねらい

◎生き物を飼育して、それらの育つ場所・変化や成長の様子に関心をもち、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができると。
◎雨の日や夏の様子とともに、安全・快適に生活するための工夫に気づき、家族と夏休みの計画を立てることができる。

小単元名	配当時数 (そのうち授業が必要な時数)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動 (概要、配当時数)	感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動 (概要、配当時数)
生きているってすごい! (p.32～41)	8 (7)	◎身近にいる生き物や見つかる場所を教え合い、探しに行く計画を立てる。 ◎生き物探しに行く準備をして、みんなで探しに行く。 ◎採集してきた場所を考えて、生き物の暮らしやすいすみかを作り、大事に育てる。 ◎生き物がえさを食べて育ち、脱皮して大きくなったり、卵を産んだりする様子を観察し、自分の発見を絵や言葉などで表現する。	p.40～41 「生きものってすごい」内の以下の活動 ○継続して観察し、記録していく(1.0) ※観察の際、写真や動画を撮るなどICT機器も活用し、それをもとにカードにまとめ、書く活動は家庭で行うことが考えられる。	
さいばい・花や やさいを そだてよう⑤ (p.42～43)	2 (1.5)	◎育ててきた野菜の成長を実感し、収穫の喜びを味わう。 ◎収穫した野菜のおいしい食べ方を考え、友達や家族、地域の人とともに考え、話し合う。 ◎栽培にあたってお世話になった人に感謝の手紙を書く。	p.42～43 「おいしい やさいが できた！」内の以下の活動 ○収穫した野菜のおいしい食べ方を考える(0.5) ※収穫物を家庭に持ち帰り、どうやって食べたいかを考えたり、実際の調理方法を調べる活動を家族と共に行うことが考えられる。	
はっけん かんだう 夏休み (p.44～47)	2 (1.0)	◎雨の日の学校や家、町のなかのすてきを探して紹介し合ったり、安全・快適な過ごし方について取材してまとめたりする。 ◎夏休み中にしたいことや、家族との過ごし方について家で相談したことを書き出して、計画表をつくる。 ◎夏休みの生活が規則正しく送れるように、一日の生活の仕方を計画する。	p.46～47 「ワクワクするね 夏休み」内の以下の活動 ○夏休みに、楽しみにしていることを話し合う ○自分がすることやがんばることを考えて、書き出す ○気をつけることについて話し合う ○夏休みの計画を立てる(1.0) ※家族と共に相談しながら、具体的にやりたいことやがんばることなど、夏休みの計画を立てることが考えられる。	

大単元:わたしの町はっけん (指導時期 9～11月・32時間) →授業内28時間(指導順序の変更が必要となる活動12.5時間) +授業外4時間

大単元の主なねらい

- ◎自分たちが住む町を探検し、様々な場所やもの、人に出会いながら、町への親しみと愛着を深めることができる。
 ◎諸感覚を働かせたり、道具を利用したりして、町のことを調べることができる。
 ◎自分の好きな場所や人、心に残った出来事などを表現し、友達や地域の人に知らせることができる。

小単元名	配当時間 (そのうち授業が必要な時間)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)	感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)
町にははっけんがいっぱい (p.54～61)	10 (9)	◎町で好きな人や場所とそのわけを「しようかいカード」に書いて、紹介し合う。 ◎友達が紹介した「町の大きさ」を、実際に見たり確かめたりする「町の大きさ」に出かけることを相談する(グループ、コース、準備するもの等)。 ◎グループごとに「町はっけん」に出発。見たり、尋ねたりしながら活動する。 ◎見つけたことや出会った人やものを「はっけんカード」に書き出し、情報交換する。	p.54～55 「たくさんあるよ 町の 大きさ内の以下の活動 ○「町の大きさ」で紹介したい人や場所をカードに書く(1.0) ※学校で、春の町探検の様子の想起を行ったうえで、紹介したい人や場所を考え、カードに書いたり、友達に紹介するための準備は家庭で行うことが考えられる。	p.58～59 「町はっけんにしゅっぱつ！」における ○町探検に出かける(3.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、回数を減らす、町の方とのやりとりはwebを介して行うなどの活動も考えられる。
みんなのはっけんをあつめよう (p.62～69)	15 (12)	◎友達の発見を聞いて次に行きたい場所やコースを決め、調べることや調べ方を相談する。 ◎2度目の「町はっけん」に出発し、相談したことをもとに町の発見を広げる。 ◎学校に戻って、町で発見したすてきな人たちの情報交換をする。 ◎発見した町のすてきを発表する方法や内容を相談して、その準備をする。	p.62～63 「もっと知りたい 町の こと」内の以下の活動 ○次に行きたい場所やコースを考え、友達に紹介するための準備をする(1.0) ※グループでの話し合いの前に、次に行きたいところ、やりたいことを自分で考え、まとめる作業は家庭で行うことが考えられる。 p.68～69 「みんなに教えてあげよう」内の以下の活動 ○発表会の準備をする(2.0) ※発表するための作品を作ったり、練習したりすることは家庭で行うことが考えられる。	p.64～67 「はっけんしたよいろいろなしごと」「はっけんしたよ 町の すてきな 人たち」における ○町探検に出かける(6.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、回数を減らす、町の方とのやりとりはwebを介して行うなどの活動も考えられる。
町の 人につたえたい(p.70～73)	7 (7)	◎家の人や町の人を呼んで、自分たちの町の発見を伝える発表会をする。 ◎調べたことをもっと多くの人に伝える方法を相談し、町の人や学校のホームページ担当の先生などをお願い相談して、学校内外へ情報発信しようとする。		p.70～71 「町の たからばこ オープン！」における ○町探検の発表会をする(2.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、成果物や発表の様子を動画に撮り、それを店や施設に送って、後日感想を聞くことも考えられる。 p.72～73 「広がれ、町の たから」における ○作品を持って、掲示のお願いに出かける(1.5) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、郵送で依頼するといった活動も考えられる。

大単元: はっけんくふう おもちゃ作り (指導時期 11～12月・9時間) →授業内8時間+授業外1時間

大単元の主なねらい				
◎身の回りのものを使って、動くおもちゃ、音の出るおもちゃを作り、遊ぶことを通して、面白さや不思議さに気付くことができる。 ◎身近なおもちゃ作りの名人に教えてもらったり、友達と教え合ったりしながら工夫しておもちゃを作り、楽しく人とかかわることができる。 ◎自分の工夫や、友達の工夫のよいところに気付くことができる。 ◎おもちゃ作り報告書を作り、自分の考えを伝えることができる。				
小単元名	配当時間 (そのうち授業が必要な 時間数)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)	感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)
おもちゃを作ってみよう (p.78～81)	3 (3)	◎身の回りの材料を使って、動くおもちゃや音の出るおもちゃを作り、面白さや不思議さに気付く。 ◎うまく動くおもちゃや、いろいろな音の出るおもちゃを工夫しながら作り、友達と比べながら楽しく遊ぶ。		p.78～81 「おもちゃを作ってみよう」において作るおもちゃの例として ・糸電話 ・ふうせん電話(p.86～87掲載) 声を出して楽しむおもちゃの製作については、活動時期の検討が必要 ※おもちゃを選択する際に声を出すようなおもちゃを避けたり、活動場所として、広く、友達との距離が十分とれる場所を選ぶなどが考えられる。
おもちゃのひみつはっけん! (p.82～85)	6 (5)	◎身近なおもちゃ作りの名人に、おもちゃ作りのコツを教えてもらったり、友達と教え合ったり、自分で調べたりしながら、より工夫してマイおもちゃを作る。 ◎教えてもらったり、調べたりしたことをもとに、どこを工夫するか考えながらおもちゃを作る。 ◎自分の発見したことを報告書にまとめたり、お礼の手紙を書いたり、1年生や家族とやりたいことを話し合ったりして、確かな気付きにする。	p.84～85 「おもちゃ大会をひらこう」内の以下の活動 ○おもちゃ作り名人へお礼の気持ちを伝える準備をする(1.0) ※活動後、おもちゃ名人に手紙を書く活動は、家庭で行うことが考えられる。	

大単元: 自分 はっけん (指導時期 1～3月 28時間) →授業内24時間(指導順序の変更が必要となる活動3.5時間)+授業外4時間

大単元の主なねらい

- ◎これまでの自分の成長を肯定的にとらえ、進んで自分の好きなことや得意なことを見つめることができる。
 ◎自分の成長を振り返るための資料を集めたり実際に人に聞いたりしながら、自分の成長を実感するとともに、身近な人と自分の成長を伝え合うことができる。
 ◎自分のよさや可能性に気づき、新たな目標をもつことができるとともに、これまでの自分の成長を支えてくれた人の存在にも気づき、感謝の気持ちをもつことができる。

小単元名	配当時間 (そのうち授業が必要な 時間)	学習内容	学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)	感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動 (概要、配当時間)
はっけん 自分の よいところ (p.90～93)	3 (3)	◎2年間の小学校生活を振り返り、できるようになったこと、大好きになったことなどを見つけて、伝え合う。 ◎友達の良いところ、がんばったことを見つけて、「はっけんカード」に書き、友達同士で伝え合う。 ◎自分で見つけたよいところ、友達や先生に見つけてもらったよいところを振り返ってまとめる。		
自分の ことを もって 知りた いな (p.94～99)	10 (7)	◎保護者からの手紙を読み、小さいころの自分の様子や自分に対する家族の思いや願いなどを知り、さらに自分のことを知りたくなる意欲をもつ。 ◎自分のこれまでの成長を知るためにはどんな方法があるかを考え、調べるための計画を立てる。 ◎成長を記録した写真、自分の成長にかかわった人へのインタビューなど、自分が考えた方法でこれまでの自分の成長を調べる。 ◎調べたことを元に、ポートフォリオやすぐろく、紙芝居など自分がまとめたい方法でこれまでの自分の成長をまとめる。	p.96～97 「いろいろな 人にも 聞いて みたいな」内の以下の活動 ○自分が小さかったころを知っている人に、自分のことを聞く方法を考え、聞く(1.0) ※家庭で家族とアルバムや小さいころの愛用品を見ながら、誰にどんな方法で聞くかの計画を立て、家庭内の人の場合はそこで聞き取ることが考えられる。 p.98～99 「自分 はっけんブックが できた！」内の以下の活動 ○「自分 はっけんブック」にまとめる(2.0) ※じぶん はっけんブックの作成において、カードを家に持ち帰り、カードを書きためていく活動を行うことが考えられる。	p.96～97 「いろいろな 人にも 聞いて みたいな」における ○幼稚園や保育所等に聞きに行く(1.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※時期をずらす、もしくは、対面ではなく、電話やメール、郵便を使った方法でインタビューすることが考えられる。
ようこそ、自分 はっけん はっぴょう会 (p.100～103)	9 (8)	◎自分の成長を伝えるための学習発表会の計画を立てる。誰を呼ぶか、伝える方法などを決める。 ◎発表会の準備をする。招待状を書いたり、プログラムを決めたりする。友達同士で伝え方のアドバイスをしてよりよい発表になるようリハーサルを行う。 ◎発表会を行う。自分が考えた方法でこれまでの成長を伝える。 ◎発表会を振り返り、自己評価をする。発表会に来てくれた人に感謝状を書く。	p.102～103 「自分 はっけん はっぴょう会へ ようこそ」内の以下の活動 ○発表会に来てくれた人に渡すお礼の手紙を書く(1.0) ※活動後、おもちゃ名人に手紙を書く活動は、家庭で行うことが考えられる。	p.102～103 「自分 はっけん はっぴょう会へ ようこそ」における ○発表会をする(2.0) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、成果物を送ったり、発表を動画に撮って送り、後日感想をいただくという活動も考えられる。
ありがとうを とどけよう (p.104～107)	4 (4)	◎これまでの自分の成長を支えてくれた人、応援してくれた人は誰で、自分にとってどんな影響を与えてくれたのかを考え、「ありがとうカード」に書く。 ◎学校の友達や先生、学習でお世話になった地域の人などに「ありがとうカード」を届ける。 ◎これまで自分を育ててくれ、今でも家族のために働いてくれる家族に「ありがとうカード」を届ける。 ◎家庭生活において、自分が家族のためにできることを考え、実行に移す。		p.104～105 「『ありがとう』って あたたい！」における ○カードを届けて、感謝の気持ちを伝える(学校外の方へ)(0.5) 活動については、活動時期の検討が必要 ※別時期に行う、もしくは、カードを送り、後日感想をいただくという活動も考えられる。
みらいに むかって はばたこ う！ (p.108～111)	2 (2)	◎これまでの学習を振り返り気づいた自分のよさや可能性、さらにチャレンジしたくなったことなどを考える。 ◎考えたことをもとにカードを書き、発表会、掲示など様々な方法で交流する。		